

主催：都市と農村交流を進める会
協力：ネイチャー佐賀(自然観察指導員佐賀県連絡会)



平成19年度
さが“食と農”絆づくりプロジェクト

かんさつかい
観察会

有明海の棚じぶで 魚類観察と獲れた魚の調理体験

2008
3/9
(sun)
道の駅鹿島



棚じぶ

潮が満ちて来る時、引いていく時に、海中に建てた檣の先にある四ツ手網を上げ下げする事により、魚が採れるという有明海ならではの伝統漁法。有明海は潮の流れが速いので、潮の流れに沿って河口付近では魚が回遊するので、その特性を活かした漁である。江戸時代から続く漁法なのだが、残念ながら鹿島市では現在1基のみ。



有明海の伝統漁法「棚じぶ」で漁獲体験を行い、獲れた魚類の観察をした後実際に調理をし有明海の幸を味わってみませんか。

また、棚じぶを通じて「半農半漁」の文化を知り有明海がおかず獲りの場であった事を確かめよう。



日時：平成20年3月9日(日) AM9時~PM1時<小雨決行>

場所：道の駅鹿島横 棚じぶ等 (鹿島市大字音成甲 4427 番地 6)

集合場所：午前9時に、道の駅鹿島(干潟展望館前)

参加費：300円(保険、調理費等)

持参物：動きやすい服装、軍手、双眼鏡(あれば)、エプロン、バンダナ

問合せ：都市と農村交流を進める会 (TEL 0954-62-8944 飯田自動車内)